

NMO OfficeLetter

京都に生成AIの拠点ができる！

大手コンサルティング企業のアクセントゥアは、生成AIを用いて経営革新をサポートする拠点として、「アクセントゥア・アドバンスト・AIセンター京都」という名称の組織を中京区のオフィスビルに開設した。AIがアウトプットする経営戦略や組織改編などを企業に提案する。AIの実装に向けた産学の共同研究も進める。京都大学と包括連携協定を結んだ。京大が持つ知見と研究人材を活かし、多様な共同研究を進める計画だ。

＜解説＞アクセントゥアの総合的なAI研究開発拠点は世



界ではインドに次いで2番目。企業のトップを招き、生成AIがアウトプットした提案を示して、経営のアドバイスを行う。複数のAI同士の議論も公開し、多くの選択肢を示す。アクセントゥアの日本法人代表者は、京都を大手メーカーや大学の集積が他地区に比較して進んでおり、新進の気鋭に富む風土だと認識していると述べた。日本でナンバーワンのAI拠点としてふさわしいとの見解を示した。同時に京都大学との包括連携協定を結んだのは、国内初。人間らしく振舞うAIを目指し、京都大学との共同研

究を加速し、倫理観や行動規範という社会科学領域の研究を行う。学術とビジネスの両方を満足できるAI人材の育成を目指す。行動経済学に基づくAIの活用、意思決定の信頼性を高める公平性の担保という難題なテーマにも取り組む予定だ。生成AI普及に向けた法整備や社会的なルールの策定基準にも取り組む。このような分野でAIの活用や研究をするのは初めて。京都が選ばれたというのは、相応の理由があり、最近の情報分野の発達で、特に首都圏でなくても良くなったこと。多様な人材を集

京都大学 × accenture
ヒューマンとAIの最前線
— 研究と実践の交差点 —

日時 2024年12月9日(月) 14:00～16:00
会場 京都大学医学部創立150周年記念施設 芝蘭会館2階 稲盛ホール(対面開催のみ)

参加無料 / 学生限定!

京都大学 × accenture
オンライン&ハイブリッド

**AIの近未来と
ビジネス潮流の変化を読む**

2024年10-12月、全10回の特別講座
30名限定

積するには、京都が向いている。首都圏に比較して土地代が安価なこと。閑空に近いことで世界とのアクセスが良いこと。そして、何よりも多くの大学と世界的にメジャーな企業が、狭い場所に集積していることが挙げられる。京都という街の強みではあるが、一方では世界的に評価される世界遺産が集合した街でもある。保存と維持を両立させ、オーバーツーリズム対策を行いつつ、最先端の研究機関などを同時に存在さすという難しい課題もある。